

こうか 市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 28

おもな内容

- 平成22年度決算 ————— 2~5
- 議案審議 ————— 6~7
- 常任委員会報告 ————— 8~11
- 一般質問目次 ————— 12
- 一般質問(16名が問う) ————— 13~18
- 特別委員会報告 ————— 19~20
- 組合議会報告 ————— 21
- であい・こうか八景 Vol.8 — 22



平成22年度一般会計決算 集中審査

景気低迷にもかかわらず財政状況の改善
引き続き財政健全化に向けた取り組みが必要

平成22年度一般会計歳入歳出の決算認定を求める議案は、決算特別委員会に付託され、9月14日から4日間にわたり、収納状況や予算執行にあたっての問題点、今後の市政に生かすべき

課題等について、慎重に審査しました。
また国民健康保険特別会計など13の特別会計と2企業会計決算は、それぞれ所管する常任委員会に付託されました。

一般会計歳入決算

(単位：円・%)

区 分		決 算 額	構成比	対前年比
自主財源	市 税	13,773,962,248	39.65	100.85
	分 担 金 及 び 負 担 金	585,624,126	1.69	94.22
	使 用 料 及 び 手 数 料	464,872,128	1.34	103.69
	財 産 収 入	70,133,473	0.20	149.63
	寄 附 金	12,313,371	0.04	162.67
	繰 入 金	278,866,941	0.80	51.38
	繰 越 金	800,106,780	2.30	115.8
	諸 収 入	975,683,782	2.81	74.22
	小 計	16,961,562,849	48.83	97.87
依存財源	地 方 譲 与 税	418,916,299	1.21	96.82
	利 子 割 交 付 金	45,274,000	0.13	99.39
	配 当 割 交 付 金	18,246,000	0.05	125.28
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	6,882,000	0.02	83.87
	地 方 消 費 税 交 付 金	820,010,000	2.36	99.83
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	463,335,192	1.33	92.37
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	130,634,000	0.38	79.25
	地 方 特 例 交 付 金	202,809,000	0.58	103.37
	地 方 交 付 税	7,045,631,000	20.28	106.05
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	13,900,000	0.04	96.36
	国 庫 支 出 金	3,839,884,497	11.05	100.35
	県 支 出 金	2,903,833,502	8.36	150.44
	市 債	1,867,300,000	5.38	93.53
	小 計	17,776,655,490	51.17	107.11
	合 計	34,738,218,339	100.00	102.39

※歳入決算の小計の数字が間違っておりましたのでお詫びして訂正いたします。

一般会計歳出決算

(単位：円・%)

項 目		支 出 済 額	構成比	対前年比
款 別	議 会 費	233,386,038	0.69	96.33
	総 務 費	5,287,970,256	15.53	90.65
	民 生 費	9,501,153,929	27.90	114.49
	衛 生 費	4,004,849,383	11.76	106.2
	労 働 費	341,986,752	1.00	116.62
	農 林 水 産 業 費	1,467,557,344	4.31	98.78
	商 工 費	344,793,509	1.01	54.31
	土 木 費	3,386,746,654	9.94	130.22
	消 防 費	1,240,998,908	3.64	102.49
	教 育 費	3,540,072,831	10.40	97.95
	災 害 復 旧 費	3,008,250	0.01	48.44
	公 債 費	4,703,278,752	13.81	91.58
	予 備 費	0	0.00	0.00
	合 計	34,055,792,606	100.0	102.80

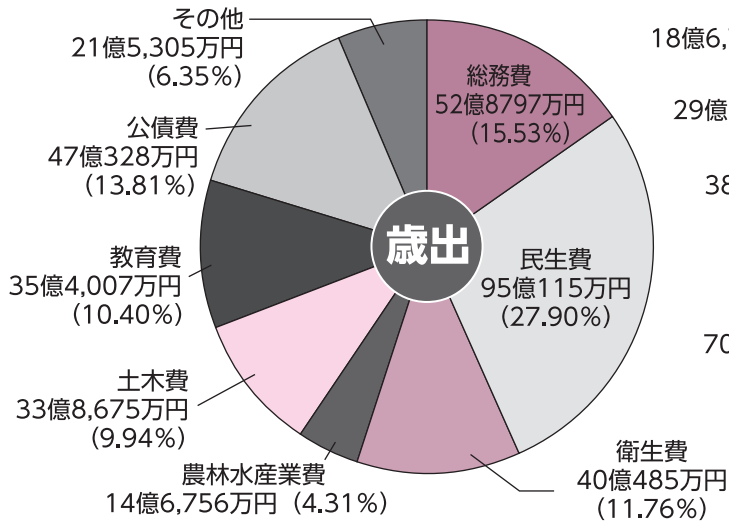


決算特別委員会委員

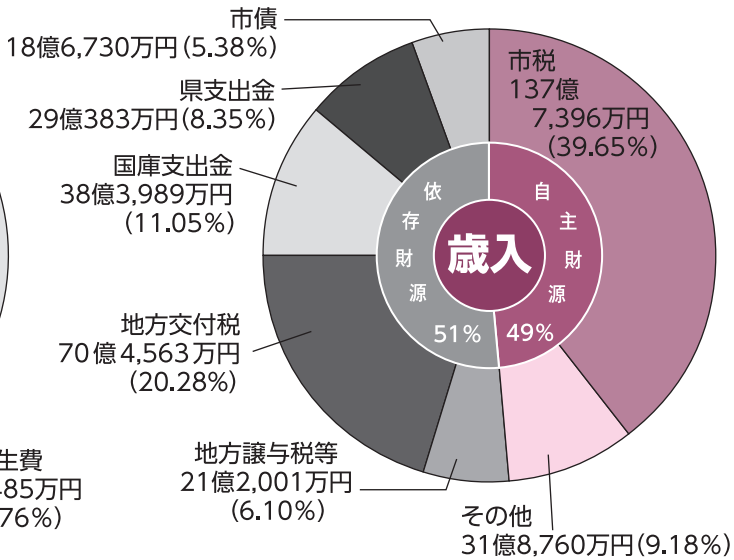
◎委員長 ○副委員長

◎中島 茂 ○田中 新人
小西喜代次 谷永 兼二
的場 計利 舩 藤男
加藤 和孝 木村 泰男
中西弥兵衛 石川善太郎
安井 直明 葛原 章年

歳出 340億5,579万2,606円



歳入 347億3,821万8,339円



各会計歳入歳出決算総括表(特別会計)

(単位：円・%)

区 分		歳 入		歳 出	
		決算額	収入率	決算額	執行率
特別会計	国民健康保険特別会計	8,742,430,987	106.07	8,068,806,357	97.89
	老人保健医療特別会計	2,026,868	99.85	2,026,868	99.85
	介護保険特別会計	4,704,543,369	99.84	4,643,885,093	98.56
	公共下水道事業特別会計	3,110,552,841	99.06	3,083,531,281	98.20
	農業集落排水事業特別会計	806,005,026	86.54	796,304,866	85.50
	土地取得事業特別会計	4,618,657	110.18	116,408	2.78
	野洲川基幹水利施設管理事業特別会計	21,702,516	99.98	21,690,200	99.93
	鉄道経営安定対策基金特別会計	22,006,159	100.00	22,006,159	100.00
	鉄道施設整備基金特別会計	33,057,154	99.99	33,057,154	99.99
	国民健康保険診療所特別会計	1,076,062,861	100.38	1,046,383,386	97.61
	後期高齢者医療特別会計	1,458,427,826	97.77	1,431,813,560	95.98
	浄化槽管理事業特別会計	116,814,608	97.11	115,844,397	96.30
	介護老人保健施設事業特別会計	19,439,800	27.15	19,439,800	27.15
	特別会計合計	20,117,688,672	101.28	19,284,905,529	97.08
企業会計	病院事業	1,148,180,404	—	1,262,259,529	—
	水道事業	3,121,050,707	—	3,555,315,835	—
	企業会計合計	4,269,231,111	—	4,817,575,364	—

より良いまちづくりに向けた審査

総合政策部

○新名神の活用戦略で現状の経済状況を鑑みて分析はどうか。

▽新名神活用戦略は市内でプロジェクトチームを作り検討中である。8月時点で素案を作成し、所管課と検討する。

総務部

○業務委託での随意契約について、見直しはどのようにされているのか。

▽内容により受ける業者があるかどうか確認。業者が複数あれば当然見積もり等で競争することになるが1社しかないれば、特命の随意契約になる。

市民環境部の民生費

○駐車場駐輪場使用料金、また利用率については。

▽貴生川南駐車場、利用率としては概ね4割程度埋まっている。今後の貴生川駅周辺整備を考えるとこれから利用あるものと考えて

土木費

○改良住宅の譲渡については。

▽一日も早い譲渡を目指している。

衛生費

○土地の使用料にある信楽不燃物処理場敷地の詳細について、又今後使用する施設については高い借地料を払い続けるより買収すべき。

▽合併前からの契約で、半年前の3月に見直し再契約した。期間は5年。金額は減額している。市の施設であるため検討する。

上下水道部

○下水道事業の現状は。

▽今後の下水道事業の見込みは22年度から下水道事業の10ヵ年計画をたてている。財政の問題や国の補助問題もあり、計画通りに行かない面もある。集落排水は地元と相談しながら進めている。

健康福祉部の民生費

○生活保護経費で嘱託医の業務内容はなにか。

▽嘱託医は水口医療センターの医師に委託、生活保護のレセプト点

産業経済部

○シルバー人材センターの現状については。

▽厳しい状況は続いている。公益法人の認可をとって経営の改善に取り組んでおられる。今年度は、国への支援拡大を要望、市も対応の支援をしていく。

教育委員会

○学校の要望や修繕要望の達成率は。

▽学校の規模、人数により予算を組んでいる。修繕については6月に

学校訪問し、修繕箇所を聞いている。22年度では267箇所の要望あった。実際の工事は64箇所。10万円以下の小さな修繕は学校単位で行っている。達成率は半分以下と考える。

○保育園については耐震診断ができていないが、診断が必要な昭和56年以前から建築された園は。

▽耐震診断の実績はない。13園が昭和56年以前に建てられている。

○修学旅行の補助金で、

決算での補助金の評価は。

▽23年度は廃止とした。行財政の見直しで検討し一定の成果があったと見た結果である。

建設部

○スポーツの森に関して、都市公園として一旦整備が終わった。工事開始から総額いくらの予算を投じたのか。

▽多目的グラウンド、市民スタジアム、陸上競技場で28億円あまりの総事業費で平成14年から23年発注した分含む。

財政諸指標、最悪期脱却

財政力指数

区分	基準財政収入額（千円）	基準財政需要額（千円）	財政力指数
平成22年度	11,595,238	15,617,935	0.79
平成21年度	12,535,055	15,950,767	0.83
平成22年度類似団体指数	7,954,308	13,364,208	0.65

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \text{の3ヶ年の平均値}$$

財政力指数は財政力を示す指数であり、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕あるものとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となる。

経常収支比率

区分	平成22年度	平成21年度	平成22年度類似団体指数
経常収支比率	88.8%	90.9%	88.1%

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源総額}}{\text{経常一般財源} + \text{減税補てん償} + \text{臨時財政対策債}} \times 100$$

経常収支比率は財政構造の弾力性（臨時の財政需要に対する財政の適応力）を判断する指標であり、市では75%程度までが妥当、80%以上は財政構造の弾力性を失いつつあると判断される。

公債費負担比率

区分	平成22年度	平成21年度	平成22年度類似団体指数
公債費負担比率	18.2%	19.9%	17.6%

$$\text{公債費負担比率} = \frac{\text{公債費充当一般財源等}}{\text{一般財源総額}} \times 100$$

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合で、この比率が高いほど、一般財源に占める公債費の比率が高く、財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

実質公債費比率

区分	20年度決算	21年度決算	22年度決算
実質公債費比率（3ヶ年平均）	H18.19.20年の平均 18.3%	H19.20.21年の平均 18.0%	H20.21.22年の平均 16.8%
公債費比率（単年度）	18.6%	17.0%	14.8%

※各年度の比率は3ヶ年平均

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{実質公債費A（地方債元利償還金} + \text{準元利償還金）} - \text{（Aに充てられる特定財源及び普通交付税算入額）}}{\text{標準財政規模} - \text{Aに係る普通交付税算入額}} \times 100$$

実質公債費比率とは『一般会計等の元利償還金』及び『公営企業債の償還に係る一般会計からの繰出金等（準元利償還金）』の標準財政規模に対する比率で、資金繰りの程度を示すもの。

※一般会計の元利償還金などが減少し、実質公債費比率は16.8%と改善され、地方債の発行に県の許可を要する基準である18.0%を下回り、許可団体から脱却することができました。

主なる審査内容

財政全般

○財政説明について引き続き財政の健全化に取り組み、歳入に見合った歳出の徹底による経費の削減や、返す以上に借りないことを基本に市債の新規発行を抑制し、プライマリバランスの黒字化を堅持した。国の経済危機対策などに対応した補正予算を編成し、対策を講じたことから、決算規模は、歳入歳出とも2年連続で前年度を上回った。実質公債比率の低下により起債許可団体から脱却するなど一時の最悪期からは脱したが、経常収支比率は88.8%と依然として高く、扶助費は確実に増加しており、財政の硬直化は今後も大きく改善することが見込めないため、引き続き限ら

消防費

○各学校に備蓄倉庫を備えるべき。甲賀市では27校中10校が備えていないが。

▽備蓄倉庫は、今後増やしていきたいと考えている。小中学校も対象にある。

○東日本大震災の後、対策会議は何回行われたのか。再度防災計画をやり直しては、どうか。

▽災害本部会議は11回開催した。内容は市内の公共施設の被災状況、災害派遣の関係、被災地の情報収集などである。防災計画の見直しについては部分的にしか議論できていないので下半期重点的に検討していく。



名称を変更した水口介護医療センター



スポーツの森陸上競技場オープンセレモニー



NHK ジュニアスポーツ教室

議会で審議したもの

人事・条例・決算・補正予算・請願・意見書・ほか

県立信楽高等学校の分校化反対を求める意見書

当校は、全国にも名を馳せる「信楽焼」という伝統的な地場産業の町が生み出し、育て上げた学校であります。また、創立60有余年を数え、各地・各分野で活躍する数百名にのぼる陶芸家や技術者を輩出した学校でもあります。

今日の厳しい経済情勢の中、当校に対する、地場産業からの期待もさることながら、交通不便なこの地域でこどもを持つ保護者からの願いは切実なものがあります。地域にとっても、未来への夢を描きながら学業に励んでいる生徒たちにとっても、当校が担う役割ははかりしれません。にも関わらず、突如として『甲南高等学校の分校にします』と発表されたショックは想像を超えるものがありました。確かに、子どもが減少してきたという事情はありますが、生徒の心に寄り添うのが教育行政の基本であり、未来を担う子どもたちへの投資を惜しむべきではありません。ましてや今日のグローバルな経済競争の中で勝ち抜くためには、日本が得意とし、信楽の町が育ててきた「匠の技」こそが必要なのではないのでしょうか。その意味でも当校の教育は絶対に衰退させてはならないのです。

地域に支えられ昭和48年に独立校となり、全国的にその専門性が認知され、評価されるまでになった矢先に学校の名が消えることは、関係者にとって耐え難いものがあります。

以上のことから、当校を現行のまま「滋賀県立信楽高等学校」として存続されるよう強く求めます。

記

要望事項

1. 現行どおり「滋賀県立信楽高等学校」として存続すること。
2. 信楽高校をセラミック、デザイン等美術に特化した学校として存続すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成23年9月27日

甲賀市議会議員 伴 資 男

滋 賀 県 知 事
滋賀県教育委員会教育長

あて

請願

◆県立信楽高等学校の分校化反対を求める請願
(全員賛成にて採択)
甲賀病院跡地利用についての請願書
(賛成少数にて不採択)

意見書

◆活断層に立地する危険な福井原発群の緊急対策を求める意見書
(賛成少数にて否決)
◆政党助成金制度の廃止を求める意見書
(賛成少数にて否決)

◆「こころの健康」を支援する基本法の制定を求める意見書
(賛成少数にて否決)
◆生活保護制度改善に反対する意見書
(賛成少数にて否決)
◆県立信楽高等学校の分校化反対を求める意見書 (別掲)
(全員賛成にて可決)

臨時会 8月11日

平成23年第3回臨時会は1日間の会期で、報告4件、専決4件、議案6件、及び追加請願1件を審査しました。

条例の制定

◆甲賀市立保育園、幼稚園の設置条例の一部を改正する条例の制定について
(賛成多数にて可決)
(賛成討論)

民間の活力で多用な教育・保育のサービス提供、環境の充実、子育て支援ができる。閉園に対する取り消しの訴えなど保護者にとって救済手段もある。
(賛成多数にて可決)
(賛成討論)

閉園の理由は、貴生川の児童の増加対策、教育・保育の環境整備というが、これは行政の責任でやるべきで、民間に丸投げしてはならない。行政は住民の声を聞くべきである。
(賛成多数にて可決)
(賛成討論)

人事

◆公平委員会委員の選任
辻 甚一郎氏
(水口町北脇)Ⅱ再任
◆人権擁護委員
八里良子氏
(甲南町森尻)Ⅱ新任
(以上2件については全員賛成にて同意)

条例の制定

◆債権管理条例
(賛成多数にて可決)
◆水口医療介護センター条例
(全員賛成にて可決)
◆スポーツ振興審議会条例の二部を改正する条例
(全員賛成にて可決)

◆税条例等の一部を改正する条例
(全員賛成にて可決)
◆災害弔慰金支給等条例の一部を改正する条例
(全員賛成にて可決)
◆障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の一部の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
(全員賛成にて可決)

平成22年度決算認定

◆一般会計
(賛成多数にて認定)
◆国民健康保険特別会計
(賛成多数にて認定)
◆老人保健医療特別会計
(全員賛成にて認定)
◆後期高齢者医療特別会計
(賛成多数にて認定)
◆介護保険特別会計
(賛成多数にて認定)
◆公共下水道事業特別会計
(全員賛成にて認定)
◆農業集落排水事業特別会計
(全員賛成にて認定)
◆土地取得事業特別会計
(全員賛成にて認定)
◆野洲川基幹水利施設
(賛成多数にて可決)

管理事業特別会計
(全員賛成にて認定)
◆鉄道経営安定対策基金特別会計
(全員賛成にて認定)
◆鉄道施設整備基金特別会計
(全員賛成にて認定)
◆国民健康保険診療所特別会計
(全員賛成にて認定)
◆浄化槽管理事業特別会計
(全員賛成にて認定)
◆介護老人保健施設事業特別会計
(全員賛成にて認定)
◆甲賀市病院事業会計
(全員賛成にて認定)
◆水道事業会計
(全員賛成にて認定)

補正予算

◆一般会計(第3号)
◆国民健康保険特別会計(第1号)
◆後期高齢者医療特別会計(第1号)
◆介護保険特別会計(第1号)
◆公共下水道事業特別会計(第1号)
◆農業集落排水事業特別会計(第1号)
◆土地取得事業特別会計(第1号)
◆野洲川基幹水利施設管理事業特別会計(第1号)
◆国民健康保険診療所特別会計(第2号)

議決

◆訴えの提起
水口町水口地先の開発事業における集会所用地の第三者への売り渡しに伴う損害賠償を求める訴え
(全員賛成にて可決)

契約の締結

◆地域情報化基盤整備事業光ファイバー網敷設工事
(賛成多数にて可決)



の選択肢も閉ざされたままである。保護者の「守る会」は、存続を求め、議決差し止めの仮処分を大津地裁に提訴しており、一部条例廃止の議案上程は不適切。一旦撤回して裁判の成り行きをみるべきである。

契約の締結

◆鳥獣害防止柵資材購入
・その1(水口・土山地区) 契約額 4,672万5千円
・その2(甲賀地区) 契約額 1億132万5千円
・その3(甲南地区) 契約額 8,746万5千円
・その4(信楽地区) 契約額 1億815万5千円
(全員賛成にて可決)



鳥獣害防護柵(イメージ)

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。



平成22年度甲賀市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

保険税や交付金等において当初見込み以上の歳入があったことから余剰金が発生しました。審査の中で、制度の役割についての質問があり、相互扶助による共済の保険制度であるため、必要なものは負担していただき必要な

付託議案

平成22年度特別会計決算6件、企業会計決算1件、条例制定1件を慎重審議

当常任委員会は、9月21日、委員会を開催し、付託された国民健康保険会計決算など6件と企業会計決算1件、新条例制定について慎重に審査しました。

ときに医療を受けていただく制度として運営しているとの説明を受けました。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

平成22年度甲賀市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

昨年度同様、週及請求分や過誤による医療給付費の精算等の処理が行われたもので、採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

平成22年度甲賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

被保険者の適正管理や保険料徴収が行われました。不納欠損、滞納

付託議案

平成22年度特別会計決算3件、条例・請願各1件を慎重審議

当常任委員会は、9月21日に委員会を開催し、付託された特別会計決算議案3件と条例、請願各1件について、執行部及び請願者に資料の提出と説明を求め、慎重に審査しました。

平成22年度甲賀市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

この会計は土地の先行取得により、事業を円滑に推進するために設けられたものです。遊休土地の台帳化を進めており、手続きを踏んで公売等につけ、毎年5千万円を目標にされています。

平成22年度甲賀市鉄道経営安定対策基金特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

この会計は基金条例に基づき、信楽高原鐵道の経営の健全化を図るための会計です。裁判は、いい結果と

なったが、今後の方向については踏み込んだ経営改善プランを来年1月までに示すのとです。



員賛成で認定すべきものと決定しました。

甲賀市債権管理条例の制定について

この条例は、市の債権の管理に関する事務の処理について、必要な事項を定めることにより、市の債権の管理の適正化をはかり、公正かつ円滑な行財政運営に資することを目的

所管事務調査

甲賀市地域防災計画の見直しについて

当常任委員会は、8月18日、防災計画の現状と見直し、地震対策情報の対応、水防災害の課題、防災ガイドブック、自主防災組織、耐震化や災害時の応援協定などについて協議しました。午後からは、土山町あずま自主防災会を現地視察、交



あずま自主防災会視察・交流(あずま会館)

とするものです。この条例の必要性、行政効果はどうかについて、今までは水道や市営住宅は、条例や要綱の中で定めているが、それ以外の料金についても、債権整理を一定の基準に統一した。債権について管理し、強制的にいくもの、放棄するものを分けて、税

請願審査

甲賀病院跡地利用についての請願書

とそれ以外の料金についても、全て同一レベルでいけるよう考えているとのこと。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

この請願は、甲賀病院移転後の跡地に、医療・福祉・保健・介護などの複合施設を整備されたいというものです。甲賀病院は今新築されており、複合施設よりも地域の活性化を考えるべきという意見もあり、賛成少数により、不採択とすべきものと決定しました。

を求めることについて

医療センター施設整備費における備品購入がされ、充実が図られました。採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

平成22年度甲賀市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

既に着手されている介護老人保健施設建築工事に伴い本館棟解体工事がされました。採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

平成22年度甲賀市病院事業会計決算の認定を求めることについて

常勤医師の安定雇用対策・施設整備や医療機器の計画的な更新がされました。採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

甲賀市水口医療介護センター条例の制定について

平成24年4月1日より

り診療所併設型小規模介護老人保健施設を開設することに伴い診療所と老人保健施設を総称する施設として甲賀市水口医療介護センター条例を制定し併せて管理基準を定めるものです。採決の結果、全員



水口医療センターでの診療

賛成で可決すべきものと決定しました。

市民児協連との懇談会を開催

甲賀市民生委員児童委員協議会連合会(甲賀市民児協連)理事会との懇談会を7月19日開催しました。

当委員会では、民生委員、民生児童委員の日頃の活動について

の意見、要望を聞き取り今後の委員会活動の中で市民生活の福祉向上に資するためにも懇談会の開催は不可欠との認識を示してきました。

理事からは、個人情報

で、情報不足が活動の障害になっている面がある。赤ちゃん訪問、要保護、準要保護、介護保険の認定、高齢者見守りなど業務は多岐にわたっているが、業務に必要な情報は非常に不足している現状が報告されました。

委員会としても、個人情報保護審議委員会の結果を受けてではありますが民生委員、民生児童委員が活動しやすい情報提供が行えるよう所管関係部に働きかけたいと考えています。

産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。



平成22年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

本事業は、市内16、367戸が処理区域世帯で、水洗化率は78.9%

である。審査において、未接続世帯への啓発と収入未済への対応、不納欠損処理、また状況と今後の計画についての質疑があり、採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

平成22年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

本事業は、市内24箇所の処理場と、多くの中継ポンプの維持管理を行うものです。使用世帯は、2,923戸で地理的に公共下

水道への接続の難しい地域の検討などの質疑があり、採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

平成22年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて

国営施設である、野洲川ダム、水口頭首工を管理するもので、甲賀市を含む下流5市の受益者負担金により、野洲川土地改良区へ管理委託しているものです。審査の後、採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

平成22年度浄化槽管理事業特別会計歳入歳出の認定を求めることについて

甲南希望ヶ丘の施設移管を平成21年1月に受け、維持管理するもので、老朽化が進んでいることから、段階的に公共下水道への接続を実施しようとするものです。審査の後、採決



完成した牧上水施設



石部大橋



近年にない災害の状況

所管事務調査

水口道路(栗東水口道路)工事の進捗について

9月11日に開通した栗東水口道路(国道1号)石部大橋について開通前の8月19日工事状況について調査しました。また、スポーツの森陸上競技

場のオープニング。リフォーム補助制度の募集結果についても資料の提出を求め説明を受けました。

台風による災害箇所の現地踏査

被害をもたらした台風6号12号15号の災害箇所について10月6日現地踏査を行いました。

付託議案

公共下水道事業や農村集落排水事業など特別会計決算4件、企業会計決算1件を慎重審査

当常任委員会では、本議会において付託された平成22年度特別会計決算4件、企業会計決算1件の議案について9月21日委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

請願審査

「県立信楽高等学校の分校化反対を求める請願」を審議

当常任委員会は、去る9月21日に委員会を開催し、信楽高校の同窓会や地場産業の信楽焼振興協議会など8団体でつくる「信楽高等学校を守り、より発展させる会」から提出された請願について慎重に審査を行いました。



信楽高等学校全景

まず、請願第6号「県立信楽高等学校の分校化反対を求める請願」について委員会協議会に切り替え、請願者の信楽高等学校を守り、より発展させる会代表より趣旨説明を受けた後、委員数名より質疑がありました。主なものは次のとおりです。

- ◎信楽高校の現状は。
- ◎運動団体の活動実態。
- ◎信楽市民の認知度は。
- ◎再編案には県外から5人の入学生枠を設けるとあるが、県立として可能なのか。
- ◎特色ある地域の学校としてのPR策はどうか。
- ◎信楽地域及び陶業界の熱意はどうか。
- 等々があり、休憩の後委員会を再開して審査



セラミック科

◎今回の分校化反対運動を起爆剤に信楽地域の活性化を図るべき。

当委員会において十分な審議を行い、本請願については採決の結果、全会一致により採択すべきものと決定しました。この後、9月27日、本会議において本請願6号が採択されたのを受け、当委員会名



デザイン科

◎今回の分校化反対運動を起爆剤に信楽地域の活性化を図るべき。

当委員会において十分な審議を行い、本請願については採決の結果、全会一致により採択すべきものと決定しました。この後、9月27日、本会議において本請願6号が採択されたのを受け、当委員会名

昭和23年9月

- ・滋賀県立甲賀高等学校 信楽分校として創立
- 昭和27年4月
- ・滋賀県立甲南高等学校 信楽分校となる
- 昭和42年4月
- ・デザイン科新設
- 昭和48年4月
- ・滋賀県立信楽工業高等学校となる
- 昭和57年4月
- ・滋賀県立信楽高等学校に校名変更
- 昭和62年4月
- ・窯業科をセラミック科に科名変更

にて、意見書案第17号「県立信楽高等学校の分校化反対を求める意見書」を提出、同日全員賛成にて可決しました。甲賀市議会より滋賀県知事及び教育長あてに意見書を提出されました。

県立信楽高等学校の沿革

一般質問

16人の議員が

市の考えを問う

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の模様をご覧ください。
<http://www.city.koka.lg.jp/>

◎傍聴のご案内
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

市民環境部長 現在の

問 本施設に震災廃棄物の搬入は。

市民環境部長 環境公社が地元や市に説明責任を果たすべきであり、市として新たな組織は考えていない。

市民環境部長 最初リースで設置していて、返還し、また設置したもの。経緯については説明を受けている。

問 放射能の測定結果を確認する外部組織がなく地元区長さん等を交えた管理体制が必要ではないか。

市民環境部長 放射能測定器をクリーンセンター滋賀に設置の要望を出すべきだと22年3月の私の一般質問で問い、再度23年7月にも質問した。なぜ時間がかかったのか。経緯は。



佐山小学校横のポスター

問 場所によりバス停に企業のポスターが張っているが建物の管理は。

建設部長 バス停の設置経緯により差異があるが今後統一をしたい。

問 放射能測定器をクリーンセンター滋賀に設置の要望を出すべきだと22年3月の私の一般質問で問い、再度23年7月にも質問した。なぜ時間がかかったのか。経緯は。

建設部長 指摘されている看板は昨日撤去した。

問 市内の看板ポスター類で明らかに違法と思われる看板が数年前から放置されている。学校横の看板もあり、撤去しないのか。

建設部長 指摘されている看板は昨日撤去した。

土山定信 議員

A 設置されました

Q クリーンセンターに放射能測定器は

目次

平成23年 第4回甲賀市議会定例会一般質問

平成23年9月9日・12日・13日

順番	質問方法	氏 名	質 問 事 項
1	分割	土山 定信	1 台風6号から甲賀市が学んだこと 2 クリーンセンター滋賀の放射能測定器について 3 甲賀市内のポスター・看板について
2	分割	木村 泰男	1 中嶋市政二期目を問う 2 庁舎改修整備事業について 3 自治振興会と地域市民センターについて
3	分割	的場 計利	1 甲賀市情報通信基盤整備事業音声通報サービスは、全戸公費負担で端末受信器設置と無料供用を 2 災害避難所への避難誘導看板の設置を
4	分割	谷永 兼二	1 自然エネルギー推進について 2 公共交通について 3 住宅リフォーム補助制度について 4 市道の管理について 5 県立高等学校再編計画について
5	分割	葛原 章年	1 環境施策について“美しい甲賀を未来につなぐために” 2 教育施策について“教育環境の充実を目指して” 3 庁舎改修整備事業について“市内全域の庁舎整備の視点から”
6	分割	辻 重治	1 放棄造成地の対応について 2 農産物の安全性向上について
7	分割	橋本 恒典	1 高齢者福祉の現状と介護予防について 2 甲賀市の文化財について
8	分割	山岡 光広	1 福島原発事故の教訓を生かし、原発のすみやかな撤退と自然エネルギー への転換を求める ◇危険な原発からすみやかな撤退を政治的に決断する時 ◇福井若狭湾に集中する原発の危険性に対する緊急対応を求める 2 公契約条例の制定について 3 自治振興会と自治会未加入市民に対する対応について 4 甲南グランドゴルフ場の利用と施設改善について 5 河床の浚渫、樹木の伐採について
9	分割	田中 新人	1 農業問題について 2 国道1号拡幅工事について 3 水口体育館の雨濡れ等について
10	分割	森嶋 克巳	1 甲南社会福祉活動センターへの進入路について 2 小・中学校の通学路の安全対策について
11	分割	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて 2 公立図書館の「雑誌スポンサー制度」の導入について 3 甲賀市スポーツ施設条例について
12	分割	中島 茂	1 健康こうか21計画について 2 甲賀市の教育の課題について
13	分割	中西弥兵衛	1 甲賀市庁舎改修整備検討委員会設置のあり方を問う 2 H23年度重点施策の展開と進捗状況を問う 3 「元気なこうか」行政経営研究会設置による政策形成能力向上事業の内容と進捗状況を問う
14	分割	小松 正人	1 低所得者の市税滞納にかかる差押え処分は不当 直ちに返還せよ 2 市が扱う軽自動車の車検切れ後の処置と課税について 3 公立貴生川幼稚園・保育園を存続し、認定こども園との共存を図るため貴生川公立園の廃止条例を撤回せよ 4 鈴鹿山系のうまい天然水の特産資源として開発し、販売できないか 5 スポーツの森キャンプ場とその周辺の整備と改善を問う
15	分割	安井 直明	1 市職員の不祥事・交通事故から再発防止策の検討と対策を問う 2 住宅リフォーム制度の予算の拡大を 3 かもしか荘の整備計画を問う 4 震災の教訓からも自主防災組織の強化を 5 「鹿深ホール」等の今後の利用について
16	分割	小西喜代次	1 学校現場での日の丸・君が代のあり方について 2 信楽高校分校化反対の取り組みについて 3 市立医療機関での無料低額診療事業について 4 信楽の保健センター・乳幼児健診について 5 水口サマーサッカー研修大会への補助金について



一般質問

問 甲賀市の環境施策の今日までの取り組みと、今後の再生可能エネルギーへの転換についての所見を伺う。

市長 甲賀市地域新エネルギービジョンに基づき、自然エネルギーの活用を検討してきた。従来からの省エネルギーの推進や地球温暖化対策など、今後も環境に関する取り組みを進めていく。これまでのエネルギーの問題は国策であることから、自治体や市民は議論してこなかった側面もあるが、再生可能エネルギーについては、経済性や技術面において難しい問題も多く、自治体が単独で取り組むことに限界があるが、今後、自治体の新たな課題としてとらえていく。



甲賀市地球温暖化対策実行計画

問 循環型社会の構築に向けての庁舎管理でのエコオフィス活動を実践した成果は。

総務部長 地球温暖化対策に率先して、主体的に取り組むため「ラブアース」こうか2007「甲賀市地球温暖化対策実行計画」を策定し、「電気使用料の削減」「燃料費の削減」「公用車の適正利用」等に取り組んでいる。また、H23年度環境配慮枠事業の前倒しにより、月間の電気使用量を7月で前年比11.1%、8月で15.1%の削減を達成することができた。

問 稲ワラや牛肉、米にも、放射性物質が検出されている産地があるが、近江米（甲賀米）の安全性向上の取り組みは。

産業経済部長 米は、主食であることから、安心して近江米を食していただけよう、またブランドイメージを守るため、各種分析測定を実施した。

セシウムなどは検出されず安全が確認され、市のホームページで迅速な情報提供に努め甲賀産米の安全性確保に努めた。また、米・茶・野菜など生産履歴の記



積み込まれる安心な甲賀米

問 放棄された住宅造成地の対応と不法投棄の対策について。

建設部長 放置された造成地は現在15ヶ所ある。規制等が行われなかった時代に民間主導で行われたもので、都市計画法はもとより関係法令の対応から、大変難しい事案である。

市民環境部長 重点監視地域として監視し、地域と協働して早期発見と可能な回収をする。

葛原章年 議員

Q 再生可能エネルギーへの転換は自治の新たな課題としていく

Q 農作物の安全性向上は

A 独自に調査を実施する

辻 重治 議員

橋本恒典 議員

Q 高齢者福祉の現状と介護予防は住み慣れた地域でいきいきと

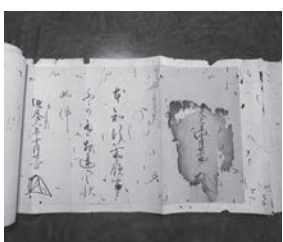
問 高齢者福祉の基本的な考え方は。

健康福祉部長 高齢者が住み慣れた地域で社会の一員として社会参加や地域貢献をしながらいきいきと元気に暮らしていただくため、高齢者福祉施策や介護予防事業に取り組んでいる。

問 地域包括支援センターの現状と今後の方向性は。

健康福祉部長 市では3つの地域包括支援センターを設置し、それぞれの圏域における相談業務を行っている。高齢者の増加とともに相談件数や訪問件数が増加しており、地域包括支援センター充実の検討も必要。

問 指定文化財の状況と保存は。



個人所有の古文書(佐治文書)

問 無形民俗文化財の伝承と記録保存は。

教育長 後世に継承していただくための保存団体への補助を行うとともに、文化庁の補助事業を活用し映像記録を順次進めている。

問 歴史民俗資料館の管理運営は。

教育長 市直営と指定管理者制度により管理運営を行っている。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 中嶋市政二期目を問う

A 将来に向け、しっかりやり遂げる

木村泰男 議員



何本も走る光ケーブル

問 自治振興会と地域市民センターの現状と、提案当初の思いとのかい離は。

市長 市の提案の姿とも、当初の思いとも一致している。

問 情報化サービスの市民理解と加入促進をどのように図るか。

市長 きめ細かな「愛ある情報基盤」を構築し、学区や自治会、各種団体への積極的な説明会を実施する。

問 中嶋市政二期目に残された期間は1年、どのように新規事業を推進されるのか。

市長 将来に向けた発展のため、今やらねばならないことを、しっかりやり遂げる。

問 自治振興会事務加算金による事務局員と事務所の設置状況は。

総合政策部長 全ての自治振興会に事務担当者がおられ、事務所が設置されている。8つの地域市民センターで行政の事務所と同室。

問 2名配置の地域センター職員で地域内巡回は可能か。

総合政策部長 可能な限り巡回し、ふれあいを大切にしている。

問 自治基本条例制定の進捗状況は。

総合政策部長 自治振興委員会と各自治振興会で協議・調整し、策定へとつなげる。

※この他にも「庁舎改修整備事業」について質問しました。

問 地域情報化基盤整備事業では市民に行政情報や災害発生時の緊急情報を、全市にくまなく即時に伝達するため、音声通報の端末器を全戸に設置および無料で利用できないか。

市長 3・11の東日本大震災を大きな教訓として「愛ある情報基盤整備」において、万一の場合の備えとして、緊急情報を伝えるため屋外拡声器はもとより市内全ての家庭に音声告知端末の設置が効果的な方策と考える。

問 外出時などで突然災害に遭った時に、先ず身体の安全を守るため、音声端末の全戸設置と無料供用を



避難所誘導看板(伊賀市)

問 積極的かつ前向きに検討する

政策監 残念ながら、地理に詳しくない方や子どもなど誰もが容易に避難できる案内看板は設置できていない。有事を想定して、避難所の見直しも含め、誘導看板の設置場所については地元などと協議し、安全で分かり易い避難路を考えながら幹線道路や目立つところに、避難所誘導看板を設置していけるよう検討していく。

Q 信楽高校分校化反対について

A 動向に注視しながら要望を行う

谷永兼二 議員

問 信楽高校において、県立高校再編計画の反対を訴える組織が立ち上げられ、活動を行っている。ただ単に分校化に反対するのではなく、ビジョンを描き将来を見据えた議論にすべきだと考える。地場産業や甲賀市のまちづくりに関わってくると思われるが見解を。

市長 信楽における陶芸、窯業は甲賀市のみならず滋賀県が誇る伝統的文化・産業と認識している。この地場産業の継承と発展は、甲賀市においても大切な資源であるとも認識して



信楽高等学校

いる。何よりも、わが国が誇る「ものづくり」を通して人材育成は、本校の果たす最大の使命と考える。

信楽高等学校を分校化でなく、従来どおり存続させると共に、全国的に例の少ないセラミックス科・デザイン科に重点を置いた特色ある高等学校として、県立大学との連携、高大一貫教育を行うなど、有益な地域人材を育成できる、時代に即した再編計画となるよう、県並びに教育委員会に要望を行った。今後とも、その動向に注視しながら、要望を行う。

※他に自然エネルギー推進・公共交通・住宅リフォーム補助制度・市道の管理について質問しました。



一般質問

問 避難所の仮設トイレの整備計画は、避難所運営マニュアルの策定予定は、静岡県が発した避難所運営ゲームを導入しては、災害情報等の伝達手段としてエリアメールを導入しては。

政策監 仮設トイレの整備計画はないが、災害発生時に避難所のトイレが使用不能となった場合、防災備蓄倉庫に備蓄している使い捨ての簡易トイレセットと簡易組み立てトイレにより対応する。トイレについても食料備蓄と同様に大切なものであるため、備蓄に努める。避難所運営マニュアルは必要不可欠であるため、市において雛形となるマニュアルを作成し、各避難所の実

加藤和孝 議員

A 生活必需品として
備蓄に努める

Q 避難所仮設トイレの
整備計画は



避難所運営ゲームの取扱説明書

情に合った内容に追記修正していただく。避難所運営ゲームについて運用を検討する。エリアメールも導入について検討する。

問 全国的に公立図書館で「雑誌スポンサー制度」という民間活力を生かす制度が導入されているが、本市でも導入しては。

教育部長 すでに実施されている他の図書館の事例を参考に導入について検討する。併せて、市民の積極的な参画意識の高揚を図るべく図書館サービスの充実に努める。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 「もんじゅ」廃炉、敦賀原発建設中止を

A 具体的に要望する段階ではない

山岡光広 議員

問 原発撤退の世論は大きい。もんじゅの再稼働をやめ廃炉、敦賀3号機・4号機の建設中止を。

市長 国や事業者の安全に関する実施状況により判断すべき。現在は具体的な廃炉や中止を要望する段階ではない。

問 公契約条例の制定を。

市長 実効性の観点からまずは国の統一的な施策の整備が必要。

問 甲南グランドゴルフ場。登録団体が主催する大会の日程は配慮ある対応を。簡易トイ



甲南グランドゴルフ場

レの改善を。

教育部長 上に繋がる重要な大会であれば早い段階で申請をいただき、予約がとれるよう配慮する。仮設トイレの「取っ手」設置へ検討する。

問 河床の浚渫、樹木の伐採を。

建設部長 区・自治会からの要望は昨年78件、今年85件。このうち県で実施したのは大規模な浚渫7件、大河川の竹林伐採3件。環境整備は十分にすすんでいない。県に働きかけていきたい。

田中新人 議員

Q 甲賀市のコメ放射能検査は

A 甲賀米は安全である

問 甲賀市のコメ放射能検査について伺う。

産業経済部長 9月2日に甲賀市で収穫された米の検査の結果、放射性物質は検出されず、甲賀市産米は安全であることが確認された。

問 汚染米が見つかった場合の管理体制は。

産業経済部長 当市においても県が示す米の放射性物質調査フローに基づき、県、JAなど関係機関と連携を図りながら、



“安全な甲賀米”の収穫

問 安全・安心な滋賀県産農産物を生産する肥料等について伺う。

産業経済部長 肥料に

Q 健康こうか21計画について

A ヘルスプロモーションの考え方で作成

中島 茂 議員

問 健康こうか21計画の具体的な支援策は。

健康福祉部長 生活の質を向上させる啓発、健康教育を実施し、健康で長生きするための日常生活の充実に対し支援する。

問 健康をつくりの考え方は。

健康福祉部長 それぞれの年代に応じた生活習慣に取り組みで頂き、生活習慣病の予防に努めて健康をつくる。

問 関係機関、行政の役割について。

健康福祉部長 健康に取り組みやすい環境が必要。教育機関では、

Q 甲賀市のコメ放射能検査は

A 甲賀米は安全である

問 甲賀市のコメ放射能検査について伺う。

産業経済部長 9月2日に甲賀市で収穫された米の検査の結果、放射性物質は検出されず、甲賀市産米は安全であることが確認された。

問 汚染米が見つかった場合の管理体制は。

産業経済部長 当市においても県が示す米の放射性物質調査フローに基づき、県、JAなど関係機関と連携を図りながら、



“安全な甲賀米”の収穫

問 安全・安心な滋賀県産農産物を生産する肥料等について伺う。

産業経済部長 肥料に



子どもの健診

子ども命や健康の大切さを、実践できる資質や能力を育てる。医療の分野では、専門性のある知識や健康への情報提供、相談、指導の役割。地域では、健康推進員による健康への活動支援。行政は、市民の健康づくりや普及啓発活動や情報提供を推進します。

問 計画推進と政策の必要性は。

健康福祉部長 本計画はヘルスプロモーションの考え方で策定した「甲賀市健康づくり推進協議会」を設置し、毎年の実施計画や進捗状況について協議します。

問 医療費の伸びは。

市民環境部長 滋賀県平均、年6%の伸びである。

Q 甲南福祉センター建設の進入路は

A 市道より甲南中学校正門へ進入

森嶋克己 議員

問 旧甲南学校給食センター跡地に建設する甲南社会福祉センターへの工事車両の進入路はどのコースにするか。



甲南社会福祉活動センター建設場所

健康福祉部長 甲南社会福祉センター（仮称）建設時の工事用車両の進入コースは、市道新橋・仲之町線から甲南中学校正面に直進する道路を利用する。

問 中学生の自転車通

学や職員の通勤車両の混雑の解消と事故対策はどうするか。

健康福祉部長 通学時には警備員を配置し、工事車両は最徐行運転で安全を確保する。

問 小・中学校の通学路の危険箇所の改修や補修の要望は何件提出されているか。また、それをどのように処理しているか。

教育部長 昨年度各学校やPTA等から提出された要望書は、水口町9件、土山町35件、甲賀町80件、甲南町50件、全体で174件で教育委員会に取りまとめ、要望内容によつて各事業担当課に検討を依頼し、報告後は速やかに書面で回答している。

問 スクールガードの組織と活動は。

教育長 全小学校で2、694人の登録があり、ボランティアで通学の安心安全活動をしていただいている。

Q 平成23年度重点施策の進捗状況は

A プロジェクトチームにて検討中

中西弥兵衛 議員

問 新名神高速道路を活用した地域づくり事業の「観光部門」での取り組み状況は。

市長 地域ブランドの開発などを行う「こうかの宝創設事業」とアントナショップの設置などを行う「こうかの宝1発信事業」のほか「忍者」をコンセプトにした「こうか忍者プロジェクト2011事業」に取り組んでいる。

問 土山SA内に設置された「アンテナショップ」の現況はどうか。

市長 8月6日から土日、祝日を基本に観光ボランティアガイドの協力を得て「ぐるっと甲賀・観光情報発信処」を開設。今後の観光戦略策定に必要な情報収集に努めている。

問 「忍者」「宿場」「信



運行を開始したラッピングバス

問 新名神活用戦略素案の進捗状況は。

市長 現在プロジェクトチームを構成し原案を作成中であり、今後パブコメを行い年度内に活用戦略として決定する。その後、総合計画の後期基本計画の最重点戦略と位置づけ、平成24年度から実施に移したい。



特別委員会の動き

議会改革 特別委員会

議会基本条例の 策定に向けて

議会改革特別委員会では昨年の7月以来、一年以上を掛けて、議会基本条例の策定に取り組んできました。

この条例は議会の最高規範であり、憲法とも言えるものです。

議会は市民から直接選挙で選ばれた議員で構成する合議制機関であり、ともに選挙で選ばれた市長と対等な二元代表制のもとに、市民の福祉の向上と市勢発展のために不断の努力を続けるものです。

「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を実現するために基本条例を制定しようとしています。9章、24条からの構成を原則として、委員の



活発な意見交換のもとに熱い気持を込めての議論となり、9月時点において、まだ原案の段階ですが、あと一条を残すところとなりました。

今後は議員全員の賛同と理解を得て、市民の皆様にご意見を頂いた後、制定したいと思っています。

地域情報化 特別委員会

全議員参加の特別委員会は「情報基盤整備事業」のチェックと 提案を通じて、市民にとって有用な地域情報社会の実現をめざす

市内全域に光ファイバーによる情報網を整備する「情報基盤整備事業」は23年度予算の中でも最も重要な案件であり、その推進には市民の理解と市行政挙げての対応が必要であります。

議会としても、30億という膨大な予算、日々進歩する情報技術を的確に捉まえ、市が推し進める方向に誤りが無いようチェック及び提言、提案を行い甲賀市の発展に繋がる地域情報化の実現をめざすことが、当委員会の大きな役目です。

○委員会の審査内容について

第1回委員会では事業全般にわたって現在の状況、運営会社について、事業費・交付金



全議員による委員会

について、加入・サービスについて、その他事前に質問を受け、それに基づき理事者から説明を受け、議論を進めました。

議論の中では、甲南の防災無線の取り扱いを今後どうするのか。行政情報や地域情報のニーズの把握について。

甲賀市の想定加入率の見込みは。運営会社については新会社の収支計画についてはどうか。新会社の設立はいつか。等々多くの質問があり新会社の設立が遅れていることもあり、十分な説明が出来ない部分もあることから、次回以降にその詳細を資料等で受けることになりました。

第2回委員会では、今後の推進スケジュールの説明があり、24年4月に新会社発足運営開始の予定が示されました。前回に続き、事業費・交付金について質疑があったが、国の交付金については、事業の趣旨が変わり極めて厳しい状況にあるとの報告がありました。また30億円事業費の内



3事業者を招聘しての委員会

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 低所得者の差押えは不当、返還を

A 法的に問題なく返還できない

小松正人 議員

問 市民の生活が激変して市税滞納となった事例がある。係は、実情を調査・把握したか。

市長 納税指導員が訪ね、納付相談している。

総務部理事 自らが納税相談に来庁して頂かない限り把握は困難。

問 低所得者の滞納にかかる差押え処分は不当、返還せよ。

総務部理事 法的に問題なく返還できない。

問 市が扱う軽自動車の車検切れ後の処置と課税について、県は車検切れ後の半年間に納税がなければ、職権で課税保留している。市

は、県の方式に改善できないか。

市長 所有により課税を行っている。

問 鈴鹿山系のうまい天然水の特産資源として、販売できないか。

上下水道部長 災害発生時に、備蓄用飲料水として検討している。

問 スポーツの森キャンプ場とその周辺の整備と改善をせよ。

建設部長 東キャン

場のトイレの水洗化は北内貴との協議が必要で、整備していない。

問 貴生川幼保にかか

る答弁は親身ある合理的説得力がない。法廷への提訴をどう思うか。

教育長 子ども達の教育環境の大切さをご判断頂ける時をもってご理解を得たと考える。



東キャンプ場の旧和式トイレ

安井直明 議員

Q リフォーム補助枠の拡大を

A 来年度に検討する

問 市職員の不祥事・交通事故から再発防止策の検討と対策は。

市長 綱紀粛正と服務規律の確保を言ってきた。使命感を持ち仕事に励むよう指導する。

副市長 気軽に相談できる風通しの良い風土の醸成が大切である。

総務部長 交通事故については、毎朝の朝礼で注意を喚起。毎月1日・15日には管理職が街頭啓発している。

問 住宅リフォーム制度の申請様式の簡素化、補助対象の拡大、補正予算の拡大を。

産業経済部長 最低限の書類である。

市長 アンケートを取り検証し、補正は見送り来年度検討していく。

問 かもしか荘の整備計画と露天風呂の増築を。



かもしか荘

産業経済部長 24年度から工事をし、25年度中に再開したい。風呂の増築は関係者と協議する。

問 震災の教訓からも自主防災組織の強化を。

政策監 先進事例の紹介や説明を行い、補助については予算確保に努める。地元集会所の耐震調査をする。

問 鹿深ホルの今後の利用と駐車場の拡大を。

市長 行政組合で修繕の後、公民館の施設として検討。駐車場拡張の予定はない。

Q 保健センター、乳幼児健診をもとに戻せ

A 変更は考えていない

小西喜代次 議員

問 学校現場での日の丸、君が代は、政府答弁でも強制しないとされている。学校行事の前に事前指導はしているのか。

教育長 特別に通達を出したり、学校でも職務命令は出していない。

問 信楽高校分校化反対を、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

だし、市民の願いにこたえて全市あげた取り

組みが必要ではないか。

市長 従来どおり存続させるとともに、特色のある学校として、時代に即した再編となるよう、県並びに県教育委員会へ要望を行った。

問 低所得者などに無料または低額で診療を行う無料低額診療事業を公立の医療機関だからこそ、率先すべきと考えますが認識はどうか。

病院事業部長 経営面の圧迫になるため、市立の医療機関では事業適用は考えていない。

問 市民の声に応え、保健センターの全面開設と、信楽・土山での乳幼児健診の復活を求める。

健康福祉部長 保健センターは特段の不都合は無く、全面再開は考えていない。乳幼児健診は出生数の地域差の拡大を踏まえ、スタッフの充実や技術力、機動力の向上を高めた。理解を願いたい。



組合議会の動き

公立甲賀病院組合 議会

平成22年度決算議案等の認定 病院事業収益9億8千万円増える

平成23年第2回定例会が10月4日、消防本部で開催されました。決算の認定や23年度補正予算など提案され、質疑のあと、いずれも認定されました。一般質問は3名の議員から、

診療報酬の改定、呼吸器外科・血液内科の医師2名の増員、更に医師確保を最重要課題とすること、全職員が経営改善に参画することなど強調されました。また収益増の主な要因として診療報酬、医師数の増、病院原価管理手法による経営改善、患者数増等挙げられました。なお新病院建設中の地元発注(貢献率)は10億3、700万円(12%)との報告。

10月4日、甲賀広域行政組合第2回定例会が開会され議決結果について報告します。

平成22年度甲賀広域行政組合一般会計決算の認定について

歳入総額

31億2、698万7、389円

歳出総額

30億6、605万9、554円

主たる歳入

◆分担金及び負担金

24億5、984万5、000円

◆使用料及び手数料

4億4、381万3、703円

◆国庫支出金

1、165万2、000円

主たる歳出

◆総務費

1億16万7、836円

◆徴税費

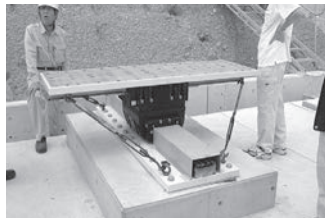
1、642万5、864円

(給与等)

(滞納整理に関する経費)



新病院の基礎の免震構造



天然ゴム系積層ゴム支承
(109ヶ所) ゴム25枚×8mm
転がりローラー支承
29ヶ所

甲賀広域 行政組合 議会

平成22年度一般会計決算認定

◆衛生費

11億1、984万237円

(し尿、ゴミの処理に伴う費用)

◆消防費

14億6、703万円

(消防、救急に要する費用)

いずれも全会一致で認定されました。

一般質問

坂田政富議員 湖南市

安井直明議員 甲賀市

森 淳議員 湖南市

甲南消防署庁舎建設へ 10月5日、起工式が 挙行されました。

(文責 服部治男)



来年3月完成予定の甲南消防署庁舎

議会活動報告 (7月～9月)

7月	1日	議会改革特別委員会	
	6日	行政視察 (民生)	岐阜県垂井町 来庁
	8日	広報特別委員会	編集会議
	13日	広報特別委員会	編集会議
	14日	地域情報化対策特別委員会	
	19日	民生常任委員会	
	20～21日	広報特別委員会 広報特別委員会	岡山県瀬戸内市 視察 広島県竹原市 視察
	22日	議会改革特別委員会	
	26日	文教常任委員会	
8月	2日	地域情報化対策特別委員会 議会改革特別委員会	
	4日	議会運営委員会	
	9日	議会運営委員会	

8月	10日	視察研修 (広報)	富山県南砺市 来庁
	11日	本会議	
	18日	議会運営委員会	
	19日	総務常任委員会	
	23日	産業建設常任委員会	
	25日	地域情報化対策特別委員会	
	26日	行政視察 (民生)	群馬県鳩恋村 来庁
	26日	議会改革特別委員会	
	30日	本会議	議案上程・説明
	31日	本会議	議案上程・説明
9月	7日	本会議	議案審議・採決・付託
	9日	決算特別委員会	
	9日	本会議	一般質問

9月	9日	議会運営委員会 広報特別委員会	編集会議
	12日	本会議	一般質問
	13日	議会運営委員会	
	14日	決算特別委員会	
	15日	決算特別委員会	
	16日	決算特別委員会	
	20日	決算特別委員会	
	21日	総務常任委員会 民生常任委員会 文教常任委員会 産業建設常任委員会	付託議案審査
	27日	本会議	議案審議・採決
	28日	広報特別委員会	編集会議

12月議会の予定

11月29日 本会議
(議案上程、提案理由説明)

12月 6日 本会議
(議案審議、採決、付託等)

8日 本会議 (一般質問)

9日 本会議 (一般質問)

12日 本会議
(一般質問予備日)

13日 委員会

14日 委員会 (予備日)

16日 本会議
(委員会報告、採決)

会派の構成が 変わりました

清風クラブ 14名
甲政クラブ 4名
日本共産党
甲賀市議員団 4名
正政会 3名
公明党
甲賀市議団 2名

(平成23年10月1日より)

橋本律子議員が受彰

平成23年度において橋本律子議員が市議会議員として通算10年以上(町議会議員期間は2分の1に換算)にわたり、地方議会の発展に貢献されたことで、滋賀県市議会議長会から、一般表彰・議員10年以上として表彰されました。



伴議長より表彰伝達を受ける橋本議員(左)

広報 特別委員会

岡山県瀬戸内市・ 広島県竹原市へ視察研修



研修風景 (瀬戸内市)

広報特別委員会ではより読みやすい「こうか市議会だより」を目指して7月20日に岡山県瀬戸内市、21日に広島県竹原市に出向き視察研修を行いました。

まず、瀬戸内市では冒頭の挨拶で市内の観光を含めたスライドで紹介をいただきました。細かいところまで観光の気配りをされている点について感心いたしました。甲賀市でも視察を受ける時には広報のスライドを作成すべきだと感じました。

広報編集特別委員会では、ベテラン議員さんも多く参加されており、議会だよりをより重要な仕事と捉え積極的な活動をされておられました。特に紙面構成では文字も大きく、

写真やイラストなどとも余裕を持って読みやすい構成でした。編集も我々甲賀市議会と同じように取材や編集などすべてを議員がされており、色々と意見交換ができて有意義な研修になりました。

竹原市では、表紙にテーマを決め取り組んでおられました。現在は市内の街角の文化で市民の方の知らないところも紹介されて喜ばれているとのことでした。今回の研修の成果を取り入れ、この28号では少し文字を大きく配置しました。

10月3日、市内不法投棄に関する懇談会を環境対策特別委員と不法投棄監視委員とで開催しました。水口町伴谷地区では監視委員と自治振興会の環境部会員25名で、放棄の実態を見回り意識の共有化を図り「思川」周辺の粗大ゴミ解決に当たっていると、タイトルの名言を語って事例発表がありました。生活環境課からの、昨年度の懇談会の約束事の説明があり、新対策として投棄個所に「犯人調査中」のミニ看板を立てると、10日後にはキレイに片づけたとあったと注目の報



ミニ看板

告がありました。そのあと監視委員から、県道の側溝、深い谷、薄暗い所、新名神に通ずる市道沿いに他府県のものらしいゴミの散在。対策として新しい大型看板の設置、周辺のクリーン大作戦、早期の処分。マゲネットバートル板をつけて多くの市民が協力することなど、積極的な対策の提案がありました。何よりも「ゴミを捨てない」子どもの時からの社会教育の徹底が重要と提起されました。

環境対策 特別委員会

第2回懇談会

「天知る 地知る 己知る 誰かが私を見てくれる」

であいこうか 八景

Vol.8

甲賀市各地には、多くの神社の「お祭り」や地域の「イベント」があります。そこに季節の風物詩として趣を求める人が集まる「にぎわい」があります。



大原祇園(甲賀)



曳山祭り(水口)



陶器まつり(信楽)

- | | |
|-----------|------------|
| ① びわ湖の源流 | ⑤ 甲賀の里を望む |
| ② 陶都の山容 | ⑥ 東海道の道しるべ |
| ③ 豊かな田園 | ⑦ 甲賀の車窓から |
| ④ お茶のふるさと | ⑧ 甲賀のにぎわい |

甲賀のにぎわい



斎王群行
(土山)



矢川七まつり(甲南)

お祭りやイベントの代表的なものとして、春には水口曳山祭、油日神社の油日祭り、あいの土山斎王群行、夏には水口での甲賀夏祭りや杣川夏祭り、しがらき火まつり、甲賀町大鳥神社の大原祇園、ござれGO-SHU!、甲南町矢川七まつり、土山町田村神社の万灯祭などが開催されています。秋にはあいの土山宿場まつり、信楽陶器まつり、あいの土山マラソン、甲賀もちふる里まつりなどが行われています。これ以外にも一年を通して甲賀市各地では多くの人が集まるにぎわいがあります。ぜひお出かけください。

編集後記

◆今年は大震災、台風襲来と日本中が自然の脅威に翻弄されたとも言える年になりました。幸い甲賀市は難を逃れ、秋の風情を感じる余裕があるのは驚沢がかもしれません。一日も早い復興を祈念します。

政治の使命の一つは自然災害を無くすことは出来ないが、不断の努力・備えにより、被害を防ぐことにあると思います。万に備えての日常からの対策の重要性を痛感しています。

◆議会広報を担当して前期を終えます。読み易く、分かり易い紙面を目指して努力を重ねてきました。私ごとながら、楽しくまた勉強になりました。

なお、次号から編集委員が交代します。拙い紙面でありましたが、ご愛読下さりありがとうございました。(広報特別委員 的場 計利)



委員長
副委員長
委員

橋谷 森田 小橋 的場
本 永 嶋 中 松 本

恒兼 克新 正律 計利
典二 巳 人 人 子 男

広報特別委員会



10月10日スポーツの森陸上競技場がオープンしました。谷川真理氏を迎え子ども陸上教室が開催されました。将来にすばらしい陸上選手が生まれることを期待します。



また9月29日より甲賀市のPRを乗せたラッピングバスが新名神を運行しています。

写真撮影：的場 計利